

令和4年度 第3回健康づくり支援部会 議事録

日 時：令和4年10月26日（水）19時40分～20時40分

場 所：市役所本庁舎10階 第4会議室

○会議次第

1 開会

2 議事

(1) 前回、前々回会議の議事録（案）の確認

(2) 令和3年度 健康推進課決算について

(3) 令和3年度 保健事業について

(4) 第二期けんこう帯広21の進捗について

(5) 健康づくりに関する市民アンケート調査結果について

(6) 第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査について

(7) その他

3 閉会

○出席委員

吉田一郎委員、吉村典子委員、鳴海亮委員、久保竹雄委員、金須俊雄委員、川田真裕美専門委員、角谷巍啓専門委員、酒井國夫専門委員、高玉裕子専門委員

○事務局

健康保険室 佐藤室長

健康保険室健康推進課 長谷川係長、吉田主査、横山主任

福祉支援室介護高齢福祉課 高橋補佐

○会議録

事務局

皆様、こんばんは。ただ今から、令和4年度第3回健康づくり支援部会を開会いたします。

事務局

本日は健康づくり支援部会、委員9名中、9名のご出席をいただいておりますことから、部会は成立しております。

それでは、これより議事の進行につきましては、吉田部会長をお願いいたします。

議事（１）

部会長

それでは会議に入らせていただきます。最初に、議事（１）前回、前々回会議の議事録（案）の確認について議題といたします。この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。議事録につきまして、ご意見やご質問があればお願いします。

（異議なし）

部会長

議事録は了承されたものといたします。

議事（２）

部会長

（２）令和３年度 健康推進課決算について議題といたします。事務局から説明願います。

事務局

資料の令和３年度健康推進課決算の概要について、ご説明させていただきます。

総事業費は 23 億 2,497 万 1,085 円でございます。内訳ですが、まず資料左側、「保健衛生総務費」は決算額 4 億 4,435 万 6,984 円となっております。

主な事業といたしましては、「保健衛生推進費」として、難病連十勝支部の事業への補助、健康づくりガイド作成、AED 賃貸借、心身障害者歯科治療費補助などのほか、「食・運動改善推進費」として、食生活改善推進員と健康づくり推進員の養成及び育成、各種教室の開催等、また、「公衆浴場対策費」として、市内の公衆浴場の確保と活性化のための各種事業への補助、ふれあい銭湯事業補助等を実施いたしました。なお、健康まつりについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止したことから、運営費の負担は発生していません。

次に「訪問看護促進費」として、北海道総合在宅ケア事業団の会費、「健康増進センター管理費」として、大正と川西の健康増進センターの運営管理、「看護師等養成機関確保対策費」として、十勝管内 19 市町村で運営している高等看護学院の運営費分担金、市内に 2 箇所ある看護師養成機関に対する補助、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた経済的理由により、修学の継続が困難になった学生に対する給付金の支給、「帯広厚生病院運営費補助事業費」として、管内 19 市町村による帯広厚生病院の運営支援、すこやかネット事業、などを実施しました。

なお、妊婦・乳幼児健康診査費、母子保健相談指導費、心の発達支援事業費、食育推進事業費については、令和 2 年度より組織再編のため健康推進課関係予算として計上しておりますが、従前より児童育成部会で説明していることから当部会においては、決算額のみお示しすることとさせていただきます。

次に、資料中央の「予防費」につきましては、決算額 16 億 1,957 万 5,098 円となっております。主な事業といたしまして、「がん検診、健康診査費」として、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、市民健康診査、骨粗しょう症検診等に要する経費など、「予防接種費」として、各種定期の予防接種費用、「感

染症予防費」として、65歳以上の高齢者等及び中学3年生、高校3年生に対する季節性インフルエンザ予防接種、65歳以上5歳刻みの高齢者等に対する成人用肺炎球菌ワクチン予防接種、エキノкокクス症検査、新型コロナウイルス予防接種を実施しております。また「結核予防費」として、結核検診、「健康相談費」として、保健師や栄養士などによる相談、「健康教育費」として、各種健康講座、スマートライフプロジェクトの推進、そして健康マイレージ事業を行っています。

また、「自殺対策事業」として、生きるを支える連携会議の開催や、多分野合同研修会の実施、「訪問保健指導費」として、保健師の個別訪問による保健指導、などを実施しました。

次に、「夜間急病診療費」は、決算額2億3,837万1,191円でございます。主な事業といたしましては、まず「休日夜間急病センター管理運営費」として、指定管理による休日夜間急病センターの管理運営を行っているものです。

次に、「救急医療対策費」として、在宅当番、二次救急医療、休日歯科診療業務、急病テレホンセンターなどの運営の委託、小児救急医療の補助を行ったものです。

最後に「保健福祉センター費」は、決算額2,266万7,812円となっております。「保健福祉センター」の管理運営に要する費用でございます。

数字横の、矢印表記につきまして、前年度決算対比での増減を表しております。細い矢印の、5%未満の増減につきましては、前年度とほぼ同様のため、説明を割愛させていただきますが、太い矢印である5%~10%未満と、10%以上のそれぞれの増減につきまして、ご説明いたします。

まず、左上の「保健衛生推進費」につきましては、8.2%の減となっております。こちらは、心身障害者歯科治療費補助金において、老朽化した歯科診療機器の購入補助のリース期間が終了したことから、補助金が減となっております。

次に二つ下の、「公衆浴場対策費」につきましては、19.6%の減となっております。こちらは、市内公衆浴場が2箇所廃止されたことにより、減となっております。

次に、二つ下の、「健康増進センター管理費」につきましては、6.8%の増となっております。こちらは、消防設備点検の際に消火器内部機能点検及び詰替えを行ったため、増となっております。

次に、看護師等養成機関確保対策費につきましては、6.5%の減となっております。こちらは、高等看護学院運営費分担金について、国の特別交付税が増えたことにより、分担金が減となっております。

次に、下から二つ目の心の発達支援事業費につきましては、8.3%の増となっております。こちらは、遊具の購入により、増となっております。

次に、一番下の食育推進事業費につきましては、5.6%の減となっております。こちらは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、親子向けの料理教室を中止したことにより、減となっております。

次に、資料中央の予防接種費については、10.9%の減となっております。こちらは、日本脳炎ワクチン接種者数の減などによるものです。

次に、感染症予防費については、915.8%の増となっております。こちらは、新型コロナウイルスワクチンの接種によるものです。

最後に、訪問保健指導費については、14.0%の増となっております。こちらは、令和2年度に比べて燃料費単価が上がったことにより、増となっております。

以上、令和3年度決算の概要でございます。

部会長

ただいまの事務局説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

委員

AED の普及状況について知りたいのですが、コミセンなどには普及しているのでしょうか。

事務局

市内の中学校とコミセン等の公共施設を併せて 36 か所に設置しています。

委員

決算額は前年度と比べて、総額で増えているのか、減っているのか、どういった状況でしょうか。

事務局

コロナワクチン接種で約 10 億円かかっており、その分を除くと例年と同程度となっています。

議事（3）

部会長

（3）令和 3 年度保健事業について議題といたします。事務局から説明願います。

事務局

令和 3 年度保健事業についてご説明いたします。

資料 2 の 1 ページ目の「1 保健福祉センター利用状況」をご覧ください。

（1）事業等の利用状況であります。表の一番下に記載しています合計数の利用者の推移をご覧ください。令和 2 年度に比べ、令和 3 年度は利用件数で約 15.5%の減、利用者数は、約 63.2%の増となっております。主な要因につきましては、新型コロナウイルスワクチンのコールセンターの設置や集団接種会場として活用したことにより、利用者数が大きく増加しております。

（2）各種相談の利用状況では、相談内容により、多少の増減はありますが、ことばの教室に係る相談件数が多く、合計では、令和 2 年度より 307 人の増となっております。

次に、「2 感染症などの予防」をご覧ください。

（1）予防接種の実施状況は、ご覧のとおりとなっております。

（2）結核検診の実施状況につきまして、15～39 歳が結核検診、40 歳以上の肺がん検診の X 線検査の受診者数の計となっておりますが、令和 2 年度に比べると 98 名の増となっております。

次に、2 ページ目をご覧ください。

（3）成人用肺炎球菌ワクチン予防接種の状況は、平成 26 年 10 月から定期接種化され、65 歳以上 5 歳刻みの年齢の高齢者を対象に実施しております。

（4）季節性インフルエンザ予防接種の状況は、中 3、高 3 と 65 歳以上の高齢者等に対しての接種事業を実施し、実績は記載のとおりとなっております。

(5) 新型コロナワクチン予防接種の状況については、5歳以上の方を対象に臨時接種を行いました。

(6) エキノコックス症検診実施状況については、新聞等の報道の影響により関心が高まり、令和2年度と比べると2倍以上の受診者となりました。

次に、「3生活習慣病の予防」についてです。

(1) 健康教育の実施状況について、令和3年度は新型コロナワクチン業務の増加などが予想されたため、各団体1回までの依頼としたことや新型コロナウイルスの感染拡大により、依頼が大きく減り参加人数が減少しております。

(2) ランチ&運動つき健診教室は、感染対策として飲食を行わず、栄養講話と運動のみで行いました。

糖尿病の発症予防に関しては、感染対策を講じながら講座や個別面談を実施し、パネル展も開催しました。糖尿病の重症化予防につきましては、原則来所による面談とし、個別の保健指導に取り組みました。

歩数計機能付きスマートフォンアプリを活用している健康マイレージ事業は、令和4年3月末時点で2,878名が参加しています。

働き盛りの健康づくりの推進を行う、スマートライフプロジェクトの登録企業は、令和4年3月末時点で92か所となりました。

次に3ページをご覧ください。

(3) 健康相談については、新型コロナウイルス感染症に伴う健康相談が大きく増加となっております。

(4) 訪問指導につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問数が減りました。

(5) 検診・検査の実施状況であります。受診者数は、ご覧のとおりとなっております。

(6) 健診事後指導については、令和3年度より新たに軽度異常値で病院受診をされていない方に対し、生活習慣改善の文書を送付したことが影響し、令和2年度と比べて実施数が増となっております。

次に4ページをご覧ください。

「4自殺対策」につきましては、関係機関や市職員等を対象に「ひきこもり支援に関する地域連携」をテーマに、多分野合同研修会を開催いたしました。その他、ゲートキーパー養成講座やSOSの出し方教室を実施しました。総合相談会につきましては、令和4年2月末に、帯広市自立相談支援センター等7つの関係機関が連携し実施する「第9回しごと・くらしの合同相談会」に参加予定であり調整を行っていたものの、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に伴い、延期となりました。延期となった、「第9回しごと・くらしの合同相談会」については、来月の11月12日に、開催予定です。

携帯電話を利用したメンタルヘルスセルフチェックシステム「こころの体温計」のアクセス数は令和2年度にアクセスが大きく減少しましたが、令和3年度についても、さらに減少しています。

最後に、「5救急医療体制」に関する実施状況ですが、帯広市では、夜間・休日等における医療不安の解消と急病患者に対処するため、休日夜間急病センター運営事業や、医療機関の協力をいただき、在宅当番医制や二次救急医療体制を確立しております。利用状況等につきましては、ご覧のとおりです。

令和3年度保健事業についての説明は、以上でございます。

部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何か質問やご意見はありますか。

委員

資料2の2(5)新型コロナワクチン予防接種の状況について、どれくらいのこどもが接種しているのか、18歳未満と18歳以上の接種割合はわかるのでしょうか。

事務局

令和3年度の334,662人というのは、1、2、3回目を接種した方の延べ人数となっています。接種率でいうと、5～11歳25.1%、12～19歳60.6%、20歳台で73.2%、以降10歳刻みでみると、約5%ずつ増加し、65歳以上は約94%以上となっています。

委員

案内を送っている人のうち、どのくらいの人が接種しているのでしょうか。

事務局

2回目の接種が終了している人が全年代で8割、3回目の接種が終了している人は全年代で65%となっています。先日、接種券を発送したところですが、現時点でオミクロン株対応のワクチンを受けられる人が12万2千人おり、これから接種していくことになります。

部会長

さきほどのこどもの接種率は帯広市のこどもの人口から出ている割合でしょうか。高齢者の人は少なくとも1回は受けているということでしょうか。何回接種したということまでわかるのでしょうか。

事務局

母数は帯広市のその年代の人口としています。どの接種回数においても、高齢者になるほど接種率は高くなっている状況です。

議事(4)

部会長

(4) 第二期けんこう帯広21の進捗について議題といたします。事務局から説明願います。

事務局

資料3をご覧ください。

第二期けんこう帯広21は、平成29年度に中間評価を行い、平成30年4月から改訂版の取り組みがスタートしております。評価指標は重点指標と、ライフステージ別指標をあわせて35個あり、今年度の進捗をもって最終評価を行っていきます。

令和3年度の実績については、太線で囲んであり、ベースライン値からみて目標値に近づいている

ものを◎、離れているものを▼で示しています。

まず、重点の指標の一つ目、糖尿病の指標についてです。

1の合併症（糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数）の人数については、4人であり、前年度と比較すると1名増加していますが、ベースライン値と比較すると減少しております。

2糖尿病有病者の割合は、男性20.7%、女性10.8%となっており、ともに前年度より増加しており、ベースライン値よりも悪化しています。

3血糖コントロール不良者の割合は、男性1.1%、女性0.6%で、男性は目標値に達していますが、女性はベースライン値からは上昇しています。

4メタボリックシンドロームの該当者は、男性33.9%、女性10.9%で、ともに増加傾向にあります。

ここで訂正があります。予備群は、男性は17.8%とベースライン値と比較し、減少しているため◎となります。女性は6.4%で前年度より上昇しベースライン値と同じなため▼となります。

5特定健診の受診率は、ベースライン値と比較すると上昇しています。保健指導率は、ベースライン値と比較して上昇し昨年と比較しても上昇しました。

ここまで2～5までは法定報告前の暫定値となることから、最終報告時には正しい実績をお伝えいたします。

2つ目に、がん対策における指標についてです。

6がんの標準化死亡比（以下、SMR）ですが、全国の基準を100として、100以上の場合は全国よりも死亡率が高く、100以下の場合は死亡率が低いと判断されるものですが、がんのSMRは、今回平成22年度から令和元年の数値となっています。ベースライン値と比較すると、男女ともに上昇しています。

7がん検診の受診率は、前年度と比較し、胃がん、肺がん検診は上昇しましたが、目標値に近づいているのは肺がん検診となっています。子宮頸がん検診は前年度より受診率が減少しています。乳がん検診は、前年度よりも上昇し目標値に近づいています。

3つ目に、こころの健康に関する指標についてです。

8自殺者の割合は、人口10万人あたりの自殺者数ですが18.1人で、前年度と比較すると減少し、目標値に近づいています。

次にライフステージ別の指標についてです。

妊娠、出産及び乳幼児期の健康について、低出生体重児は前年と比較して減少し、ベースライン値より減少しています。

妊娠中の飲酒の割合は、前年と比較し減少しており、ベースライン値よりも低い状況が続いています。

妊娠中の喫煙の割合は、1.87%で、年々低下しており、目標値に近づいている状況です。

3歳児のう歯のない割合は、90.2%で前年度と比較すると上昇し、目標値を超えた状況が続いています。

次に、学齢期についてです。

肥満傾向にあるこどもの割合ですが、平成29年度の中間見直しの際に国の目標値に合わせ「中等度以上の肥満児の割合」から「軽度以上の肥満児」に目標と指標を変更しておりますが、「軽度以上の肥満児」の割合は16.4%で、年々上昇しています。

12 歳児の一人平均う歯数は0.7本であり、前年度及びベースライン値と比較しても減少しています。次に、青年期から中年期についてです。

18 脳血管疾患、虚血性心疾患の SMR ですが、男性の脳血管疾患はベースライン値と比較して低下しており全国と比べ死亡率が低くなっています。女性は上昇しており、全国よりも死亡率が高くなっています。

虚血性心疾患の SMR は、男女ともにベースライン値と比較して上昇しています。

19 脂質異常症の方の割合は、男女ともベースライン値と比較して上昇しています。

20 健康づくりに関する活動に取り組んでいる企業登録数は、スマートライフプロジェクトに賛同する企業団体の数です。中間評価で目標値を修正し、最終年度の目標を 100 か所としておりますが、令和 3 年度実績では 92 か所と増加し目標値に近づいています。

21 適正体重を維持している人の割合ですが、のちほど報告する「健康づくりに関する市民アンケート調査」（以下、市民アンケート）を参照しており、20～60 歳台男性の肥満者の割合は 35.3%で 5 年前と比較し増加しており、ベースライン値から離れております。

40～60 歳台女性の肥満者の割合についても 21.4%と 5 年前から増加しています。20 歳台のやせの割合は 16.3%と 5 年前よりは減少していますが、目標には到達していません。

22 野菜の摂取量については、373.5 g で前年度よりは減少しましたが、目標は達成しております。

24 運動習慣者の割合は、市民アンケートの結果ですが、20 歳台から 60 歳台の集計となっているため、参考値として男性が 28.1%、女性が 24.3%となっています。どちらも目標には達していない状況です。

25 歩いて 5 分以内（300m以内）の距離で自家用車を利用する人の割合については、18.7%で 5 年前よりも減少し、ベースライン値よりも減少しています。

26 睡眠による休養を十分とれていない人の割合は 25.9%で、5 年前よりも増加し、目標を達成できていません。

27 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合は男性 6.8%、女性 2.6%で男性は 5 年前より減少していますが、女性は増加している状況です。

28 成人の喫煙率について、16.9%で 5 年前よりも減少し、目標に近づいています。

次に歯の健康についてです。

29 の 40 歳代における進行した歯周炎を有する人の割合は、54.5%と前年度より増加しましたが、ベースライン値と比較すると減少しています。

30 の 35～44 歳で喪失歯のない人の割合は、78.4%でベースライン値と比較して大きく上昇しています。

31 過去 1 年間に歯科健康診査を受診した市民の割合は 60.8%で 5 年前よりも上昇し目標に近づいています。

33 就労または何らかの地域活動をしている高齢者の割合については、男性 48.6%、女性 42.2%で、ともに割合が増加していますが、目標には達していません。

34 歯の喪失防止については、データソースを市民アンケートしていますが、年代ごとの集計としているため、参考値として、70 歳以上で 20 本以上自分の歯を有する人は 39.2%、60 歳台で 24 本以上自分の歯を有する人は 30.5%となっています。

35の60歳代の進行した歯周炎を有する人の割合は、55.6%で前年度よりも増加していますが目標に近づいています。

最後に表の右側に、令和3年度の市の主な取り組みに関して、各課の取り組み内容を掲載しています。

第二期けんこう帯広21の進捗についての報告は以上です。

部会長

ただいまの説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

委員

指標の9、15、16がずっとデータがないのはなぜでしょうか。

事務局

評価指標のデータソースが帯広保健所のアンケート調査結果となりますが、アンケート調査を実施していないのでデータなしとなっています。調査が終了した詳細は把握していません。

議事(5)

部会長

(5)健康づくりに関する市民アンケート調査について、事務局から説明願います。

事務局

資料4をご覧ください。こちらは、8月に実施した市民アンケートの概要版と調査結果の冊子です。市民アンケートの作成にあたっては、7月に書面で健康づくり部会を開催し皆様より意見をいただきありがとうございました。調査結果の冊子については、事前配布では「暫定版」としておりましたが、あらためて資料4として配布させていただきました。

アンケートは設問項目が多いことから、本日は概要版をもとにご説明いたします。

第二期けんこう帯広21は、平成25年3月に市民の健康づくりの指針として策定し、平成26年度から各種の健康づくりを進めてきました。

今次計画は令和5年度までの計画期間であることから、第二期けんこう帯広21の最終評価及び次期計画に向けた基礎資料とするため、健康づくりに対する意識や行動、生活習慣など現状の把握を目的としたアンケート調査を実施しました。

調査の方法等については、調査対象は6歳から85歳の帯広市民で、2,500人を無作為抽出しております。調査は8月に実施しており、郵便により発送し、紙とwebによる回答により回収しております。調査方法については、平成23年度、平成29年度とほぼ同様ですが、今回の調査では、はじめてwebによる回答方法も可能としました。調査項目は42項目となっております。

回収結果については、2,500人に発送し、1,345件回収し、回収率が53.8%となっております。内訳としては、紙での回収が1,025件、webによる回答が320件となっており、参考に平成29年度と比べると13%上昇しております。

男女別では女性の方が 58.6%と高く、年齢別では、70 歳以上が最も高く次に 60 歳台となっています。地区別では、農村地区が最も高く、次に西帯広地区となっています。

調査結果については、概要版をもとに行いますが、各分類から抜粋したものを掲載しておりますので、詳細については資料 4 をご覧ください。

【健康への意識】について、「1 年前と比べて、あなたの健康状態は、つぎのうちどれですか？」の設問では、「かわらない」と回答した人が 38.8%で最も多く、「よい」「まあよい」を併せると 37.4%となっており、「あまりよくない」「よくない」を併せた 23.4%よりも多くなっています。

【栄養・食生活】では、身長・体重から BMI を算定した結果になりますが、「標準」が男性では 62.7%、女性では 66.6%となっています。

参考に過去の結果を掲載しておりますが、男性、女性ともに肥満の割合が増えてきている状況です。

【アルコール】については、「どれくらいの頻度でお酒（日本酒、ビール、焼酎、ワイン、ウイスキーなど）を飲みますか？」では、「飲まない（飲めない）」が 39.8%で最も多く、次に「毎日」が 13.5%となっています。

10 年前（H23）と比べると、「週 2 回以下」の割合が 7.2%増え、「以前飲んでいた」が 6.6%減っている状況でした。

【身体活動・運動】では、「日頃から健康維持・増進のため、意識的に身体活動あるいは運動をしていますか？」では、「ほとんどしていない」が 45.1%で最も多く、次に「週 2 回以上している」が 34.9%となっています。

過去のアンケートと比べると、「ほとんどしていない」が年々増えている状況です。

【歯の健康】については、「歯や口腔内の健康状態を確認するために、治療とは別に、歯科健康診査を受けましたか？」では、「受けたことがない」が最も多く 37.1%となっています。

選択肢については、今年度は「この 1 年間に 1 回以上受けた」「過去に受けたことがある」としていますが、「この 1 年間に 1 回以上受けた」を定期的に受けているとすると、過去の状況と比べると上昇しており、「受けたことがない」が減少している状況です。

【休養・こころの健康】で、「いつもの睡眠で、休養が十分にとれていると思いますか？」の設問では、「まあとれている」が 51.3%で最も多くなっています。過去と比べると、「十分とれている」が減少し、「あまりとれていない」「全くとれていない」が上昇しています。

【たばこ】の項目で「あなたは習慣としてたばこを吸いますか？」では、「一度も吸ったことがない」が最も多く 47.0%となっています。過去と比較すると、「吸っている」が減少し、「吸ったことがない」の割合が上昇しています。

【がん】については、「定期的ながん検診（人間ドック以外）を受けていますか？」では、「ほとんど受けたことがない」が 46.9%で最も多い状況です。性年代別で、「毎年受けている」「毎年ではないが受けている」と回答した人は、どの年代でも女性の方が高く、40 歳台女性が 70.9%と最も高くなっています。

【健康づくり】については、「今後、市民の「健康づくり」のために特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか？」では、ひとつだけ回答してもらう設問のため、複数回答した人を除き「健康に関する情報」が 185 人で最も多く、次に「健康診査」が 168 人となっています。

今後は、これらの結果をもとに分析し、最終評価に向けた作業を行っていきます。説明は以上です。

部会長

ただいまの事務局の説明について、何かご質問やご意見はございますか。

(質問・意見なし)

議事(6)

部会長

(6) 第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査について、事務局から説明願います。

事務局

「第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業実施計画の策定に向けたアンケート調査」につきまして、概要を説明させていただきます。お手元にお配りしているA4で1枚ものの資料をご覧ください。アンケート調査については、調査時期を来年1月に予定しております。調査方法は、郵送による配布・回収となりますが、事業所及び介護労働者を対象とする調査についてはWEB回答も実施予定です。

アンケート調査は、記載の①～⑧の8種別で行います。

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び④在宅介護実態調査は、国指定項目と市独自の調査項目とを合わせた調査となっております。

②③の介護保険サービス利用状況実態調査(利用者・未利用者)及び⑤事業所における介護労働実態調査、⑥介護労働者の就業実態と就業意識調査は市独自項目による調査となっております。

⑦居所変更実態調査及び⑧在宅生活改善調査は、国指定項目による任意調査となっております。

アンケート内容については、市独自項目がある①～⑥の調査について、質問項目を一覧にとりまとめたものを配布しております。

調査項目に色がついている部分について、★印がついているものが新規、□印がついているものが見直しを検討している項目となっております。

第九期計画でのアンケート項目設定の考え方については、国指定項目は変更がないため、前回調査と同様の質問内容となっております。

独自項目の考え方について①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査については、新型コロナウイルス感染症による在宅生活への影響を把握するための項目を追加しました。具体的な質問については、別紙「新規・見直し項目の具体例【①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】」の2・3ページ、黒色⑦から⑨をご覧ください。

②③の介護保険サービス利用状況実態調査(利用者・未利用者)及び④在宅介護実態調査は、ケアラーについての質問項目を新たに追加しました。介護でお世話をしている人が過度な負担によりこころや体に影響が出ていないかという視点での項目となります。具体的な質問については、別紙「新規・見直し項目の具体例【②③介護保険サービス利用状況実態調査及び④在宅介護実態調査】」の1～3ページ、ケアラー部分をご覧ください。

アンケート内容につきましては、現時点での検討案となっております。今後、委員の皆様のご意見や、プロポーザルで決定したアンケート調査の委託事業者のアドバイス等を受けまして、最終決定するものとなります。

委員の皆様からのアンケート内容へのご質問・ご意見に関しましては、別紙の意見書にて受付いたしますので、11月7日（月）までにファクス等で介護高齢福祉課までご提出願います。

いただいたご意見等につきましては、今後の調査項目の最終決定に向け、参考とさせていただきたいと考えております。

最後に今後のスケジュールについてです。アンケート調査は年明け1月に実施し、3月中に結果集計及び分析を行う予定です。なお、2月の健康づくり支援部会において、詳しい計画策定に関するスケジュールについて説明を行う予定となっております。説明は以上です。

部会長

ただ今の事務局の説明について、何かご質問やご意見はございますか。

委員

アンケートの配付の数について、項目によって人数が違うが基準があるのでしょうか。

事務局

調査結果の正確性のため、各調査に該当する対象者を一定程度の割合で抽出しています。

委員

8種類の調査を行うということでしょうか。

事務局

そのとおりですが、調査種別によって対象者は異なります。

委員

8種類全部送られてきて、市民側が関係あるものを選ぶということでしょうか。

事務局

例えば①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、要支援認定者及び一般高齢者を対象に3,000人を抽出しアンケートを発送します。

委員

ケアラーの把握について、何をもちてケアラーというのか、若い人ほどケアラーという自覚がないということもあります。また、特に若い世代は、性別自体分けられない方もいます。お世話をしている時間の設問についても選択肢の最後が9時間以上となっておりますが、介護が必要な方のご病気などによ

っても違ってくるので、9時間以上は幅が広すぎるのではないかと思います。

80代、90代のケアラーもいれば18歳未満のケアラーもいるので、ケアラーを一緒にするのは難しいところもあるのではないかと思います。

事務局

ケアラーの項目については、②、③、④の調査で、基本的に介護保険サービスを利用している人に対して調査するものとなっております。今回は高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたものとなりますので、調査対象者は介護保険サービスを利用する人や家族となっております。

議事（7）

部会長

議事（7）その他について、委員の皆様から何かはありますか。

（特になし）

部会長

なければ、事務局から何かありますか。

事務局

本日の議題に対する説明や報告が多岐にわたり駆け足ということもありましたので、ご意見やご質問等がありましたら健康推進課、介護高齢福祉課に寄せていただけたらと思います。

けんこう帯広21につきましては、来年度に新たな計画を策定し、令和6年度からスタートします。高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画も同じように令和6年度にスタートするため、今後策定作業が本格化して参ります。

次回の健康づくり支援部会の日程につきましては、例年2月に予算等をご説明するため審議会の日程と併せて設定させていただいているところであり、あらためて委員の皆様にご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

その際の内容につきましては、本日報告した市民アンケートの結果を踏まえて第二期けんこう帯広21の最終評価の暫定報告と、健康増進計画とあわせて策定している自殺対策計画の最終評価の暫定報告を予定しているほか、次期計画策定に向けたスケジュールなどを説明させていただく予定です。

次回もよろしくお願いいたします。

部会長

以上で予定されている議事は終了いたしました。

本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。